

A.I.を活用した認知症相談システム

「認知症世界の歩き方 旅のせんぱいA.I.」

4月1日から運用開始

令和7年3月28日
京丹後市役所

京丹後市と特定非営利活動法人イシュープラスデザイン（代表 筧 裕介氏）で共同開発しているA.I.を活用した認知症相談システム『認知症世界の歩き方 旅のせんぱいA.I.』の運用を令和7年4月1日から開始します。

認知症世界の歩き方 旅のせんぱいA.I.の概要

認知症世界 旅のせんぱいA.I.（A.I.チャットボット）は、「認知症の人とその家族視点に立った地域づくり」を基本理念とする京丹後市と特定非営利活動法人イシュープラスデザインの共同開発によって実現しました。

認知症のあるご本人、共に暮らす家族、支援者の方、認知症に関心のある方など、幅広く使っていただける対話型A.I.サービスです。

本A.I.チャットボットは、100名以上の認知症の方が語る心身機能のトラブルやそれに対する暮らしの工夫について学習しており、皆さんに共感する姿勢も備えています。認知症とひと足早く付き合い始めた旅のせんぱい（A.I.チャットボット）が、自分の経験を活かして皆さんに寄り添い、認知症とともに暮らす上での疑問、不安の相談に乗ってくれます。認知症の気になることや暮らしの困りごとを気軽に尋ねることができ、はじめてのことばかりで不安な認知症世界の旅を頼もしくサポートしてくれます。

【運用開始】令和7年4月1日から

【開発・運営】特定非営利活動法人 issue+design（イシュープラスデザイン）



旅のせんばいA.I.が学んでいること

本A.I.チャットボットには、OpenAI社（A.I.の開発を行う企業）のAPI（質問と回答をつなぐ役割）を使用しています。OpenAI社が提供するサービス「ChatGPT」が学習しているwebや書籍、ニュースなどの基礎データに加えて、認知症世界の歩き方に関連する情報をもとに整理した生活課題や原因にあたる心身機能のトラブル、その対応策をデータとして学んでいます。

旅のせんばいA.I.のサイト入口ページ

○ 京丹後市ホームページ 認知症相談システムサイト（4月1日から公開となります）

<https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/kenkochoju/chojufukushi/3/2/ninchisho/21161.html>

京丹後市 認知症A I	検索
-------------	----



会話画面

<p>認知症世界の歩き方 旅のせんばいA.I.</p> <p>MENU</p>  <p>それはつらいですね。私も外の音が気になってしまうことがよくあります。</p> <p>外音が気になって、会話に全然集中できないんです。</p> <p>質問を入力してください</p> <p>送信</p> <p>過去の会話を見る</p>	<p>認知症世界の歩き方 旅のせんばいA.I.</p> <p>MENU</p>  <p>静かな環境を選ぶ</p> <p>人と話すときは、できるだけ静かな場所を選ぶようにしています。BGMがないお店や、席の間隔が広いところが安心です。</p> <p>外音が気になって、会話に全然集中できないんです。</p> <p>質問を入力してください</p> <p>送信</p> <p>過去の会話を見る</p>
---	---

【参考】 特定非営利活動法人イシュープラスデザイン 旅のせんばいA.I. 概要ページ

https://issueplusdesign.jp/dementia_world/ai/

問い合わせ先

京丹後市 健康長寿福祉部 長寿福祉課

電話 0772-69-0330